

そよの子



5月は、大型連休に始まり、地震避難訓練、読み語りスタート、各種健診、花苗植え（縦割り班活動）、スポーツテスト、5年生の水俣・芦北での集団宿泊教室、PTA美化作業、5・23差別をなくす山都地区集会への参加並びに5・6年生によるステージ発表、不審者避難訓練等々、保護者の皆さま、地域の皆さまのご協力を得ながら、日々、充実した教育活動が展開できました。草木の育つ時期ということもあって、草刈りや木の剪定等においては、保護者の方だけでなく、日頃から地域の方にもたいへんお世話になっております。児童数の減少に伴い、P数もT数も減っていますので、たいへん助かります。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願います。

さて、5月から6月にかけてのこの時期は、統計上、学校内でのトラブルが増えたり、「学校に行きたくな〜い」と言う子が出てきたり、子供も大人も何となく不定愁訴になったり…と、そんな時期です。「そんな時期だ。」と知っておいて生活したり、未然防止のための取組を行ったりすることは大切だと思います。そこで、蘇陽小では、6月を『人権月間』とし、仲間づくりを意識した教育活動を展開していきます。また、『心のアンケート（学校版）』を実施したり、スクールカウンセラーによる授業を行ったりしていきます。もちろん、毎日の授業を充実させていくことも重要です。学習者（子供たち）主体の授業づくりにもがんばっているところです。

* 第28回 5.23差別をなくす山都地区集会への参加について *

5月23日（土）に『5.23差別をなくす山都地区集会』が開催されました。本校からも複数の児童と職員が参加し、5、6年生は、ステージ発表を行いました。今年も、5、6年生が複式学級になったことから、一緒に水俣学習や平和学習を行っています。ステージでは、5年生が前日まで水俣・芦北の現地で学んだことをふまえて、蘇陽小で行っている人権学習について水俣学習を中心にご発表しました。

発表の最後には、3つのことを宣言しました。

- いじめや差別を絶対に許しません
 - ちがいを認め合い、お互いを大切にします
 - 自分や友だち、家族を大切にします
- これから、みんなで、この3つの宣言をもとに「人を大事にする」学習を行っていきます。

子供たちの感想より 新しく学んだりあらためて考えたことを、学校に帰って伝えたい。	差別を「しない」のではなく、「なくす」んだ！	他校の発表を聴いて、命や食の大切さについて考えた。
	おかしいことに対して「おかしい」と言えるようになりたい。	蘇陽小のみんなの気持ちを言えてよかった。

集会のようすが、24日（日）の熊本日日新聞に掲載されました。学び多き、価値ある参加でした。